



「頭をうった！ さあ、どうする？」

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野

こども急性疾患学部門特命助教 田中 司

頭部外傷はこどものけがの中で非常に多いものです。そのほとんどが軽症である一方で、後から症状が出ることもあり、大切な頭の問題でもあるため、軽視はできず親の不安は非常に大きなものになりやすいです。

受傷時の対応、意識障害の判断や、その後に気をつけること、予防策など、知っておくべきことはたくさんあります。全てを話すことは難しいですが、その一部だけでもお話させていただければと思います。



「はしかについて」

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野

こども急性疾患学部門特命助教 高藤 哲

はしか（麻疹）は昔の日本ではありふれた疾患でしたが、予防接種が強化され、昔に比べて見るのが少なくなりました。しかしながら、海外からの輸入感染などにより、数年に一度、流行することがあります。

はしかにかかると、約30%で合併症が起こし、医療の進歩した近年の先進国であつても1000人に1人の割合で死亡するといわれています。今回は、はしか（麻疹）の恐ろしさ、その対策についてお話しさせて頂こうと思います。

